



現状と課題

● 現状

16歳以上の人で自分の歯の健康管理のために、自分の歯ブラシがある人は92.9%、歯みがきを1日2回以上している人は62.4%、かかりつけの歯科医院がある人は53.0%です。デンタルフロス・歯間ブラシなどの歯の間を清掃する器具を使用している人は19.0%、定期的に歯科の健康診査を受ける人は18.5%と、割合が低くなっています。また、何もしていない人は、2.1%です。

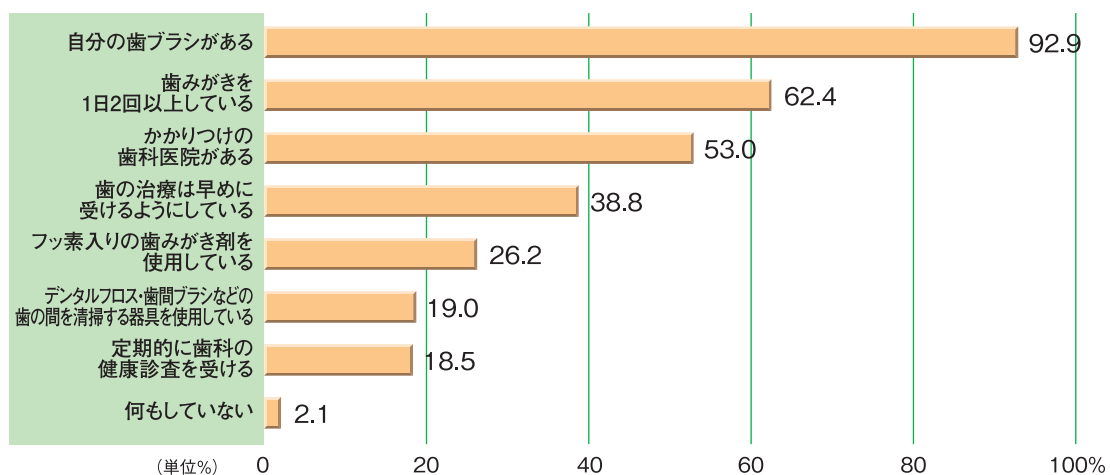
1日3回以上歯みがきをする子どもは、小学3年生が80.5%、小学6年生が49.0%、中学3年生が27.3%と、学年が上がるにつれて減少します。

● グループで話し合われた内容

自分の歯の健康管理について、何もしていない人は少ないものの、むし歯や歯周病で歯を失う人は少なくありません。また、給食後の歯みがきを実施している小・中学校は多くありますが、学年が上がるにつれて恥ずかしさや時間がないなどの環境からか、学校で歯みがきをする子どもが減少します。

大人も子どもも年齢を問わず、『食べたらみがく』という習慣を身に付けるとともに、その習慣を継続するための環境をつくる必要があります。

歯の健康管理



● 課題

自分に合った歯みがきの継続により、むし歯や歯周病で歯を喪失する人を減らす。

● 現 状

16歳以上の人で歯の状態として歯ぐきから血が出ることもある人は32.4%、歯がしみることがある人は30.4%です。歯周病を引き起こしたり、悪化させたりする原因として喫煙があげられますが、喫煙が歯周病に影響していることを知っている人は26.8%です。

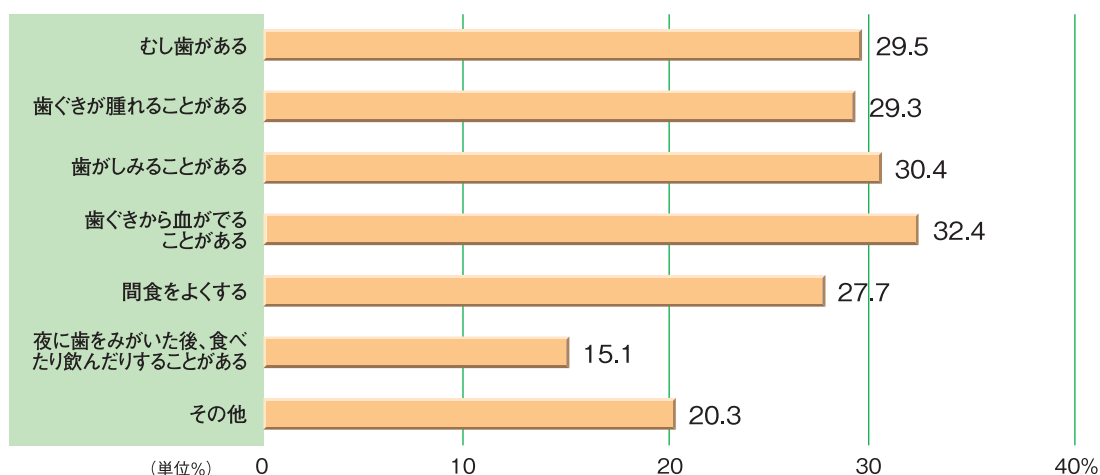
歯を失うことが生活のどのようなことに影響すると思うかについて、噛みごたえのあるものを噛むことに不都合だと思う人は89.7%、外見上だけでなく心理的につらいと思う人は59.4%です。

● グループで話し合われた内容

歯を失うということは、見た目が悪いだけでなく、噛むことに不都合が生じるためにおいしく食事ができなかつたり、発音が不明瞭になることから会話が楽しめなかつたり、心理的にもつらくなるなど、日常生活にさまざまな影響を与えると考えます。

歯周病を予防するには、まず歯や歯ぐきの手入れについて正しく理解し、身に付けた予防方法を継続して実践する必要があると考えます。

歯の自覚症状と生活習慣

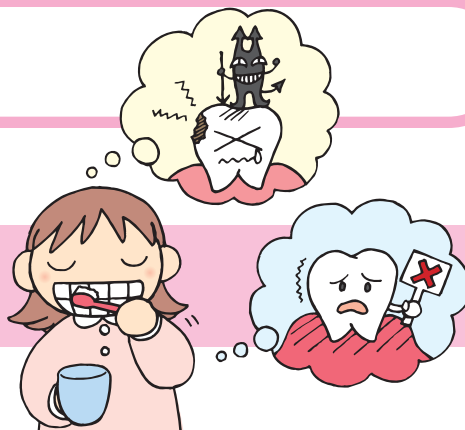


● 課 題

歯周病について正しく理解している人を増やす。



取り組み 年度別



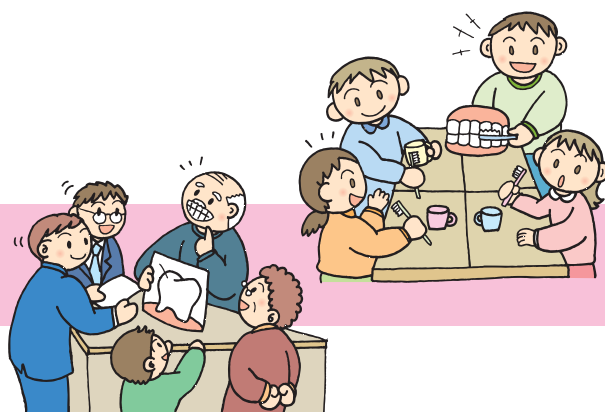
1

むし歯、歯周病を予防するための知識を普及する

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
<p>市民 の取り組み</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●むし歯、歯周病を予防するために必要な知識を習得する ●歯の喪失予防に必要な歯の健康管理を実践、継続する 			
<p>関係機関 の取り組み</p> <p>《関係機関名》 幼稚園、保育園 小学校、中学校 歯みがき推進隊</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●昼食後の歯みがきを勧奨する (幼稚園、保育園、小学校、中学校、行政) ●むし歯、歯周病に関する知識を普及する (幼稚園、保育園、小学校、中学校、行政) 			
<p>行政 の取り組み</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●むし歯、歯周病を正しく理解し、予防するための知識を普及する (幼稚園、保育園、小学校、中学校、歯みがき推進隊、行政) ●むし歯、歯周病に関する知識の普及に必要な教材を作成する (幼稚園、保育園、小学校、中学校、行政) ●作成した教材を使用して健康教育を行う (幼稚園、保育園、小学校、中学校、歯みがき推進隊、行政) 			
	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教育や出前講座を行い、8020 運動を推進する (行政) ●広報紙などでむし歯や歯周病に関する知識を普及する (行政) ●関係機関に歯の健康に関する情報を提供する (行政) 			

2

歯の健康づくりを推進するための 人材を確保する



	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
<p>市民 の取り組み</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> ●歯みがき推進隊養成講座を受講する ●歯みがき推進隊として活動する 		
<p>関係機関 の取り組み</p> <p>《関係機関名》 幼稚園、保育園 小学校、中学校</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> ●歯みがき推進隊養成講座、歯みがき推進隊の活動を支援する (幼稚園、保育園、小学校、中学校、行政) 		
<p>行政 の取り組み</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●広報紙やチラシ などで歯みがき 推進隊養成講座 を周知する (行政) 		<ul style="list-style-type: none"> ●歯みがき推進隊養成講座を行う (行政) 	

評価指標および目標値 課題別

課題	評価指標	現状値	目標値
自分に合った歯みがきの継続により、むし歯や歯周病で歯を喪失する人を減らす	むし歯のない子どもの割合	3歳児 79.5%	85%
	一人あたりのむし歯本数	12歳児 (中学1年生) 1.06本	1本以下
	保有歯数の割合	60歳で24本以上 64.3% 70歳で21本以上 43.5% 80歳で20本以上 37.5%	67% 45% 40%
	仕上げみがきをしている子どもの割合	1歳6か月児 69.0% 3歳児 76.9%	90% 90%
	1日3回以上歯みがきをする子どもの割合	小学3年生 80.5% 小学6年生 49.0% 中学3年生 27.3%	85%以上 80%以上 50%以上
	歯みがきを1日2回以上する人の割合	16歳以上 62.4%	80%
	デンタルフロス・歯間ブラシなどの歯の間を清掃する器具を使用している人の割合	16歳以上 19.0%	32%
	定期的に歯科の健康診査を受けている人の割合	16歳以上 18.5%	27%
歯周病について正しく理解している人を増やす	喫煙による歯周病への影響を知っている人の割合	16歳以上 26.8%	50%

用語解説

歯みがき推進隊

愛西市が行う歯みがき推進隊養成講座を受講し、歯の健康づくりを推進していく人

ハチマルニイマル 8020運動

日本人の平均寿命は約80歳であること、約20本歯があれば何でもおいしく食べられること、の2つの内容を加味し、歯科界の目指す方向性を示したキャンペーン

[資料：平成18年健康日本21あいち計画 (改訂版)]